

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 4 月 1 日作成)

委員会名	性能仕様書検討小委員会	主 査 名：松本 信二
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2002年4月 ~ 2004年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>従来の建築工事仕様書は、使用する材料や構法を設計者が特定するということが前提に作成されていたが、要求性能を明確に示すことができれば、使用する材料や構法は施工者が自由に選択・開発できるようになる。このような「要求性能の実現」を重視した仕様書のことを性能仕様書という。我が国における建築産業の実情を前提にして、性能仕様書のあり方を検討し、いくつかのプロトタイプを作成することを目的とする。</p> <p>2002年度：諸外国の動向調査、性能仕様書の定義、利点と問題点の検討</p> <p>2003年度：性能仕様書の分類、プロトタイプの作成</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>松本信二(建築・住宅国際機構) 西野加奈子(建築・住宅国際機構) 遠藤和義(工学院大学) 大木典雄(国土交通省) 大武通伯(建築ライフサイクル研究所) 小西和重(三菱地所設計) 齋藤隆司(日本郵政公社) 佐藤孝良(サトウファシリティズコンサルタンツ) 澤永好章(国土交通省) 高橋暁(国土交通省) 竹ノ谷光美(タケノヤ事務所) 竹本喜昭(清水建設) 田村潤一(日本設計) 中根淳(関東学院大学) 平野吉信(国土交通省)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2003 年度予算	120,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>委員会</p> <p>4/24 10名、 6/20 9名、 9/18 9名、 11/12 10名、1/14、9名、 3/10 12名 計6回</p> <p>大会 PD 9/6</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>建築生産に関わる法令・規格等の性能規定化に対応して、建築工事仕様書も将来的には性能仕様書を目指すことになるのではないかとこの観点から、性能仕様書のあり方や課題を検討した。</p> <p>また、この問題に関する諸外国の事情についても調査を行った。欧米、特にヨーロッパでは、建築物の機能・性能に関する研究は着実に進められてはいるが、現実のプロジェクトへの性能仕様書の適用という面では、日本での実態とそれほど変わらないことがわかった。</p> <p>2003 年度から、国土交通省大臣官房官庁営繕部が主催して、「工事仕様書の性能規定化及び再構築検討委員会」(主査：嵩 英雄)を実施している。この委員会の検討事項は本小委員会の検討事項と一部重複しており、検討作業も、必要に応じて共同で行った。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>性能仕様書に関する問題は、発注形態や工事契約の問題とも深く関わっており、プロジェクトの方式等とも関連が深いことから、2 年間では仕様書すべての検討を行ったとは言い難いが、今後に向けての一助となるような、性能仕様書のあり方性能仕様書の特性と課題について、ある程度考え方を示すことができた。</p> <p>また、床工事を対象にプロトタイプを作成したが、今後、各種工事に性能仕様書を適用するときに参考になるものが提案できたと考える。</p>
その他評価すべき事項	<p>大会時にパネルディスカッション「性能仕様書への期待と課題」を開催</p>